

平成18年度第3回(第172回)備中地区司書部会

日 時：平成18年10月4日(水) 10:00~16:00

場 所：岡山県立倉敷古城池高等学校

参加人数：17名

司会進行：加藤省子(倉敷天城)

記 録：川上倫代(玉島)

1. 開会挨拶

2. 協議事項

① 平成18年度全国図書館大会(岡山大会)

発表「生徒「参加型」の図書館づくり」について

東根さやか司書(倉敷中央)発表 パワーポイント使用

その後広報・展示・イベントの3グループに分かれて発表の検討

〈イベント班〉

- ・ 全体に生徒の存在感が薄い。
- ・ 生徒がどう関わっているのかわかりにくい。強くアピールして。
- ・ 生徒が関わったことによる図書館の具体的変化を述べる必要があるのでは。
- ・ 図書館の変化を具体的な事例や客観的なデータ(数字)をあげるとよいのでは。

〈展示班〉

- ・ 生徒の反応を、生徒の発言のまま「 」つきで引用した方がよい。
- ・ スライドに、文字を減らして写真を多く入れる。メリハリをつける。
- ・ 広報のインタビュー記事では、本人の許可をもらっていることを一言添える。
- ・ 3つの活動に相互作用があるという結論へ持っていこう。

〈広報班〉

- ・ 内容に生徒の顔が出てこない。よく見えない。
- ・ 広報が展示・イベントに深く関わっていることを前面に押し出す。
- ・ 広報には展示やイベントの予告をする役割と、報告する役割を担っていることを知らしめて。
- ・ 淡々と話すと聞きにくい。

※ 事業実践の記録を更新して以下のアドレスへ再提出。

※ 画像が少ない。使えそうな画像は今週(10/13)までに以下のアドレスへ再提出。

二熊司書(水工) メールアドレス ko_guma_t4344h@yahoo.co.jp

② 次年度からの研究テーマについて

〈発表予定〉7月下旬 岡山県学校司書研究協議会〈津山大会〉

10月 中国大会

※ 発表のための研究ではなく、継続的な研究の必要を感じる。

※ 3班にわかれて研究。12月の第4回備中地区司書部会で班分け、テーマ設定。

A 図書館資料についての研究 〈昨年度の水工の発表の延長？〉

B 広報・イベントについての研究 〈今年度の中央の発表の延長？〉

C その他

- ・ カスタム式の引継ぎ文書の作成
- ・ 除籍について 〈ある程度の実践マニュアルの作成〉
- ・ 統廃合による合併校との資料の統合について
- ・ 高校間および小学校・中学校とのネットワークづくり？ 〈書籍収集の分担等〉
- ・ 司書教諭との協働について
- ・ 新たな発表の模索 〈本の出版から廃棄に至るまでの物語を語る、など〉

3. 研修 資料研究「私のすすめるこの1冊」「食に関する本」、フリーテーマ

次回のテーマ検討 候補「図書館についての本」「色に関する本」

「学校に置きたいマンガ」「泣ける本」「感動する本」

「干支（猪）に関する本」

「各学校得意分野・専門科の専門書について」

☆「【和】に関する本」←決定

4. その他

◆学校図書館システムネットワークについて

二熊司書（水工）から 現在までの研修の報告。

現在、こういうことができたなら・・・と希望することを出してほしい。

- ・ 夏休み中に1学年全体にわたる世界史の課題があるが、県図書だけでは不十分。同じ図書でも副本がほしい。各校の資料も借りることができたら。〈天城〉
→各校横断検索ができたらよい。
物流も県立図書館を経由せずに学校間でできるのがベスト。
- ・ 自校システムが他校と違い、他校に相談できない。〈笠商〉
- ・ 棚の中に貸出中資料がある場合、蔵書点検時に解除できたら 〈笠工〉

◆7月の岡山県学校司書研究協議会〈岡山大会〉の反省・意見があれば古城池高まで

◆ MARCの必要性を学校側に認めさせることができず困っている。利用校リスト等があればほしい。〈笠商〉 →リストは水工経由で朝日から取り寄せる。

MARCの必要性については中央がメールで資料を送る。

5. 閉会